

# 町内会だより

第161号 2015.11.25  
東栄今本町内会連合会  
編集 総務・広報常任委員会  
電話番号 97-8644



## 豊かで明るい 安心・安全な地域づくり

(防災防犯活動の推進と環境美化の確立)

—たがいに助け合い、協力し合って地域の輪を広げよう—

今年もあと  
一枚の  
カレンダー  
師走

### ◎ ふれあい運動会

10月25日(日)午前中 北部小学校  
体育館建て替え工事の進む横で、今年も校庭トラックを縮小して、ふれあい運動会が開催された。  
参加者募集の労をとって頂いた組長・班長・子ども会・老人会の皆さんのご苦勞もあって、約1200人の皆さんが集まっていた頂き、大盛会となりました。



### ◎ 防災訓練

11月15・16(日・月) (参加者)  
今村公会堂避難所 253人 集約宿泊15人  
東栄コミセン避難所 145人  
今本コミセン避難所 144人

大地震に見舞われ、幸い大きな怪我に至らなかったが、不幸にして帰る家無くした人が駆け込む場所が避難所。震災直後は行政も機能しない。避難所では、『避難者がどのような生活をして過ごすことになるのか・何をしなければならないか』。『食う・出す・寝る』という条件で、そして三か所の避難所同時進行で連携して、各種体験を通じてどのように対応をすべきか、少しでも問題・課題を洗い出したいというのが、防災訓練の基本テーマでした。

不本意ながら、午後1時の発災前に夕食の下準備が始まり避難所内の準備など、予めスタートしていました。『訓練をスムーズにスタートさせよう』の思いが、この日が近くになるつれ強くなったのかも知れません。訓練のための訓練？

私たちは、阪神淡路大震災・東日本大震災の事をよく知っています。地盤の安定した我が安城でも70年前には三河大地震が発生し、市の南部では甚大な被害があり、人が亡くなっています。

何よりも大切にしたいのが、被災者一人一人が『自分ができることでまず行動し、協力して生き抜く』、『みんなの協力』が大切ということ。

訓練に参加した一人ひとりが、災害をどう捉え、訓練・体験を通じてこれからどう対応しなければならないか。町内会として今出来ること、きっかけづくり、やってみてわかったことなどの認識を提供したかった。ケガをしない事、死なない事、食う・出す・寝る、そして共同生活で自分は何が出来るか。

企画も詰めも甘いところは多々ありますが、いつか来るその日のために、心構えと行動のお役に立ちたいの思い、ボールは投げられた。後は・・・

### ◎ 桜子ども会 子ども会便り

「わっしょい!わっしょい!!」  
10月16日に行われた白山祭礼で、みこしを引いて町を練り歩きました。桜子ども会は子どもの人数は少ないですが、子どもたちは町中に聞こえるぐらいの元気いっばいの声で頑張りました! 12月にはボーリング会があり、楽しい行事がいっばいです!!

